

小学6年生～高校1年生相当の男子と保護者の方へ

HPV (ヒトパピローマウイルス感染症) 任意予防接種の

接種費用を助成 します。

4価HPVワクチンの任意接種をした男子へ、
予防接種費用の助成を行います。

男性に関するHPV(ヒトパピローマウイルス)がひき起こす病気

HPVという子宮頸がん(=女性の病気の原因)というイメージがあるかもしれませんが、実は、中咽頭がんや肛門がんなど男性に起こるがんの原因にもなります。また、尖圭コンジローマという性器のイボも、HPVが原因となり起きる疾患です。



©熊谷市

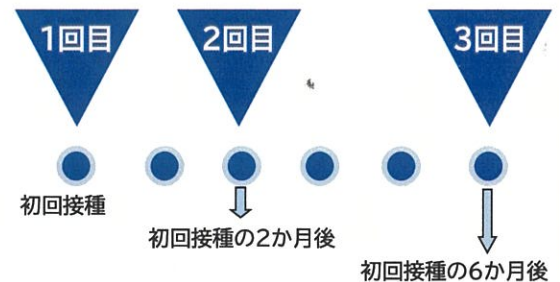
男性へのHPVワクチンの効果

HPVワクチンを接種すると、HPVに対する「抗体」が体内で作られ、HPVの感染を防ぎます。日本での、肛門がんの約8～9割はHPVが原因だと言われており、HPVワクチンで予防できると考えられています。また、尖圭コンジローマという性感染症も予防できます。

また、男性がHPVワクチンを接種することは、大切なパートナーを病気から守ることにつながります。

4価HPVワクチンの接種方法

十分な予防効果を得るためには必ず3回接種してください。初回(1回目)、初回接種から2か月後(2回目)、初回接種から6か月後(3回目)を、接種します。通常、腕に筋肉注射をします。



助成申請方法



①予診票交付申請はこちらから
(マイナンバーカードを提示してください)
※マイナンバーカードがなくても
申請できます。

- ①「熊谷市 男子4価HPV感染症予防接種予診票」の交付申請をします。(オンラインまたは窓口)
- ②予診票がお手元に届いたら、医療機関一覧に掲載のある医療機関へ予約します。
- ③予防接種を受け、接種料金を支払い、予診票(熊谷市控)と領収書を受け取ります。
(接種費用は医療機関によって異なりますが、約6万円前後です。)
- ④「熊谷市男子へのHPVワクチン接種費用助成申請書兼請求書」にて申請をします。1回の接種につき、18,227円を上限に助成します。(郵送または窓口)※接種した年度内に申請してください。

接種に関する注意事項

HPVワクチン接種後には、接種部位の痛みや腫れ、赤みなどが起こることがあります。また、因果関係があるかどうかかわからないものや短期間で回復した症状を含め、まれに重い症状が起こることが報告されています。※接種後に体調の変化が現れたら、まずは医師にご相談ください。

この予防接種は、予防接種法に定められていない任意接種となります。個人の予防として、本人または保護者の意思と責任で接種を行うものです。万が一、予防接種を原因とする重篤な健康被害が起きた場合、「独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)」による医薬品副作用被害救済制度の補償を受けることができる場合があります。詳しくは、救済制度連絡・相談窓口「独立行政法人医薬品医療機器総合機構0120-149-931 (フリーダイヤル)」にお問い合わせください。



〈医薬品副作用被害救済制度
について詳しくはこちら〉

〈お問い合わせ〉

熊谷市母子健康センター
〒360-0812
熊谷市大原1-5-36
電話 048-525-2722
Fax 048-526-1950